

**留学先国名** : イギリス

**留学先学校名** : リーズ大学

**留学期間** : 平成 27 年 4 月 9 日 ~ 27 年 9 月 12 日

私は 2016 年 4 月から 9 月まで約 5 か月間 イギリスのリーズ大学に語学留学に行きました。

最初の 3 か月間はホストファミリーの家にホームステイをさせていただき、その後の 2 か月間はリーズ大学が提供している寮で生活をしていました。

まず始めにホームステイでの生活は語学力の上達には一番よい環境であると実感しましたが、私にとって初めてのホームステイであったので、ホストファミリーとコミュニケーションをとり一緒に生活することに慣れるまで時間がかかりました。特に日常会話に英語はもう少し話せると思っていたのですが、ネイティブの人に自分の意見を伝える際にどうしても自分の英語の文法、発音が正しいのかわからない不安に思ってしまう、もしくは間違っただけを言って何度も聞き返されたり、険しい顔をされるのが恥ずかしく思ったり、度々自信を無くしてしまう事が多かったです。生活していく上で自分の言いたいことが上手く言えないことが一番悔しくて留學生活始まって早々の大きな壁だと思いました。学校生活も前期はクラスが 2 つに分かれており 1 クラス 15 人くらいで構成されていました。私は上のクラスで授業を受けていましたが、同じクラスのサウジアラビア人の生徒は大学院修士課程を取得するために語学学校に通わなければいけないシステムで既に英語は私よりもはるかに話せて、聞く事もでき、書ける人達が、難しいコースの定員割れで私と同じコースにいました。そのため基本的に授業内でも周りより自分は分かっていないのではないかという状況が多かったので、留学に来て 3 か月目に差し掛かるまでは毎日必死で授業を受けて、家に帰ってホストファミリーが毎日今日一日の出来事を聞いてくれたので必死で伝えるという状況でした。楽しいと感じる余裕はなく、毎日を必死で切り抜けている状態でした。この状況が続き、落ち込むことが多かったのですが、イギリスに来て三か月目に差し掛かる頃に落ち込んでしまって何もしない状態のままだと結局何も変化しないのが現実だとふと開き直れることができ、人よりできなくても、自分の英語が伝わらず、相手に顔をしかめられても頑張るって伝えようとする事、小さなことは気にせずとにかく日々前向きに頑張ることが大切だと思えることができました。日本ではマイナス思考の多い私がこう思えたことが留學生活において私が一番変わった部分であり、一番の収穫であると思います。時間と比例して少しずつホストファミリーが言っていることが理解でき始め、自分が言いたいことが正しくなくても言えるようになって来たときに急に生活が楽しく充実し始めました。同時にホームステイの期間が終わってしまい大学が提供する寮での生活が始まりました。日本では私は実家で家族と住んでいるので、寮ではキッチンが共有ですがほぼ一人暮らしの状態でした。洗濯、自炊をすべてしなければいけない状況が長期間なかったのでまず始めに自分がいかに親に甘えて生きているのかを実感しました。毎日外食をするわけにはいかないので、授業が終わってから買い物をして夜ご飯を作り、食材を腐らぬように朝食・昼食も自分で作るようにしました。最初は両立が大変でした。そのうち一人暮らしの生活にも慣れることができました。社会人になる前に自分の身の回りのことをすべて自分でしなければな

らない状況に置かれてとてもいい経験ができたと思い、帰国後も継続しようと思いました。前期ではサウジアラビアからの留学生のみのクラス構成でしたが、後期は海外でも夏休みにあたるため、韓国・スペイン・トルコ・中国などたくさんの異なる国籍の留学生が多くなり、授業の雰囲気ガラッと変わり、日本人だけにいる状況がかなり減りリスニングの力や簡単な日常会話はすぐに出てくるようになりました。さらに同じ寮に私のコースと同じクラスの韓国人の生徒も住んでいたため、夕食を一緒に食べることも増えました。そのため朝学校についてから、自分の部屋の戻るまでずっと英語を話すことができる環境があり、一番英語の力が伸びた時期でした。そして今でも連絡を取る外国人の友達ができました。

4月の時点では先生が授業で話している事も必死で聞かなければわかりませんでした。留学生活が残り2~3週間になった頃、単語がすべて綺麗に聞き取れるようになっていました。最初は自分が成長しているかどうか目に見え、実感できるほど大きいものではありませんでしたが、5か月間でスピーキング、ライティングはまだまだですが、リスニングはとても伸びたと感じる事ができ、大きな達成感を得ることができました。そして何事もどんなに地道な努力も無駄にはならない事、すぐに諦めず粘り強く継続することを学びました。英語という形がとても自分が成長した度合いを示すものさしとしてとても目に見えやすいものだったのでそう思うことができました。私は高校や外部の団体で募集のある2週間や1か月間の語学研修などは遊びになってしまい、旅行感覚になるのではないかと考えていたので、今まで短い期間で海外に行くことは頭に入れていませんでしたが、私の留学生活を振り返ってみて、イギリス内で旅行に行くことも自分で宿泊先、交通手段を考える計画性や注意力、生活力が身についたと思います。また最初の2週間のホームステイの刺激はバスの乗り方がわからなかった事やベジタリアンがイギリスでは普通の事である事やEU脱退に関する選挙の時期にイギリスいた為もっと自分も世界の出来事や政治を知るべきだと思ったことなど想像以上の物でした。

これから海外留学を短期でも長期でも考えている人は、自分の育った国は便利で快適すぎて目に見えなくなってしまう、当たり前だと思ってしまう物がたくさんあると思います。人と話すにもモノを買うにも何をするにも考え、頑張らないといけない環境に行くことは自分の考え方や人としての成長に繋がると思います。

また私は留学生活で得た、前向きな考え方と地道に努力し続ける姿勢を忘れずこれからも英語を勉強し続け、就職活動やこれから社会人になってから生かしていこうと思います。